

授業科目名	【Gカリキュラム】 - 【EFカリキュラム】 情報法IV	選択	開講年次	【G】 - 【EF】 3	単位数	【G】 - 【EF】 2
科目区分	専門科目：【G】 教科及び教科の指導法に関する科目 (- - - - -) / 【EF】 教科及び教科の指導法に関する科目 (- - - - -)					
担当形態	単独	【G】 教員の免許状取得のための (- - - - -) 科目 【EF】 教員の免許状取得のための (- - - - -) 科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	電子商取引（2）B2B および B2G	担当者	吉田 一雄			
授業概要	<p><b>【概要】</b> 電子商取引法のうち、いわゆる B2B(Business to Business)企業間、および B2G(Business to Government)政府調達を取り扱う。ICT 技術を活用して、法律問題を回避しつつ、効率化をはかる企業の多様なビジネスモデルを取り上げて、検討する。</p> <p><b>【到達目標】</b> 企業間の電子商取引の仕組みを理解した上で、問題の所在と、必要な技術的ないし法的対策が分かるようになること。加えて、国際間の電子商取引の課題と展望に知見を得ること。 この授業では、平均的な知識を与えることは目標としておらず、学生各自が実際にユニークなビジネス・モデルを構築できることがメインテーマとなると理解した上で受講して下さい。</p>					
履修条件	大学の PC の ID を利用可能としておくこと。					
教科書・参考書	<p><b>【教科書】</b> 経済産業省「電子商取引および情報財取引等に関する準則」（最新版をネットからダウンロードするように授業において指示する。）</p> <p><b>【参考書】</b> 「これだけは知っておきたい中国ネット通販成功の方法」吉田一雄監修・綜合法令出版・¥1,500-</p>					
授業回数	授業内容					
1	電子商取引の意義と B2B、B2C、C2C、B2G の概念		予習：インターネットショッピングサイトにアクセスすること 復習：教科書のダウンロード			
2	企業における個人情報保護の取り組み（プライバシーマーク、ISMS）		予習：プライバシーマーク表示を発見せよ 復習：教科書・参考書の通読			
3	電子商取引関連法制の世界的取り組み		予習：外国のネットショッピングサイトにアクセスすること 復習：教科書・参考書の通読			
4	認証		予習：教科書の該当箇所 復習：具体的ビジネスモデルの構築：着目点			
5	契約の成立時期（e-mail モデルと Web モデル）		予習：教科書の該当箇所 復習：具体的ビジネスモデルの構築：発想			
6	電子商取引ビジネスモデル		予習：教科書の該当箇所 復習：具体的ビジネスモデルの構築：5W2H			
7	セキュリティと守秘義務		予習：教科書の該当箇所 復習：具体的ビジネスモデルの構築：課題発見			
8	証拠と e 文書		予習：教科書の該当箇所 復習：具体的ビジネスモデルの構築：課題解決			
9	標準化の意味と戦略		予習：教科書の該当箇所 復習：具体的ビジネスモデルの構築：法的課題発見			
10	電子申請と電子入札		予習：教科書の該当箇所 復習：具体的ビジネスモデルの構築：法的課題解決			
11	サプライチェーンマネジメントからヴァリューチェーンマネジメントへ		予習：教科書の該当箇所 復習：具体的ビジネスモデルの構築：データ交換協定書の必要事項			
12	トレーサビリティと電子タグ		予習：教科書の該当箇所 復習：具体的ビジネスモデルの構築：データ交換協定書の起草			
13	インターネット・サービス・プロバイダーとインターネット・データ・センター		予習：教科書の該当箇所 復習：具体的ビジネスモデルの構築：経済的側面に関する市場調査			
14	管轄、準拠法、規制、捜査、および税		予習：教科書の該当箇所 復習：具体的ビジネスモデルの構築：具体的妥当性検討			
15	まとめとビジネスモデル報告		予習：報告準備 復習：実現可能性の検討			
評価方法	実運用可能な B2B、または B2G の具体的ビジネスモデルを構築することをもって、採点対象とする（但し、融資などの資金面については対象外とする）。					
評価基準	対消費者電子商取引にあたって法的な留意点とその解決方法が理解され、ショップ運営が可能な水準を「S」「A」、ユーザーとして十分安全に利用できる水準を「B」、一般的理解の水準を「C」、法的問題点が理解できていない水準を「D」、全く無理解を「E」とする。学習成果につき最終的な報告がない場合には「F」。					
その他	様々なビジネスモデルに対応した文献が希少であり、かつ現場にいないと理解が難しいので、授業への出席を要する。また、社会環境の変化によっては、シラバス内容の入れ替えがある。 ※G 別：法【-】 経【-】 情【-】 / EF 別：法【-】 経【-】					